

令和6年10月15日

医療法人徳洲会 神戸徳洲会病院
尾野 亘 病院長殿

神戸徳洲会病院 医療安全業務監査報告書

関西医科大学医療安全管理センター
副センター長 宮崎浩彰

下記の通り、貴院に対する医療安全業務監査を行ないましたので報告します。

1. 監査方法

神戸徳洲会病院における医療安全に係る業務の状況について、病院管理者等からの聴取及び資料を閲覧する等の方法によって監査を実施しました。

- ・日 時：令和6年9月27日（金）
- ・場 所：神戸徳洲会病院会議室
- ・監査者：宮崎浩彰（関西医科大学 理事長特命教授（医療安全担当））

2. 監査実施項目

（1）改善措置命令に対する改善計画スケジュール

① 医療安全文化の醸成

医療安全活動を推進する専任医師1名ならびに同医師を補佐する医師1名が新たに配置されたことを確認しました。検証・分析は、単純な批判的視点ではなく、結果を知ってから行っていることを常に念頭に置き、医療行為を行った時点での状況を根拠に「事前的視点（前方視的視点）」で行うことが求められます。また、再発防止策の立案は、前述の検証・分析結果をもとに指摘された重要項目に対して、再発防止を「事後的視点（後方視的視点）」で検討することが強く期待されます。

医療安全研修については、役職者を対象とした医療安全管理者養成研修が順調に進捗しており、医師を対象とした医療安全講習会も開催されていることを確認しました。11月にはチームトレーニングのアドバンスドコースが予定されており、チーム力向上に資する実践活動の活性化が期待されます。

また現場では、転倒転落に関するカンファレンスやインシデントカンファレンスが行われており、Pm-SHELL分析など既定の分析手法が用いられていることを確認しました。引き続き質の高いカンファレンスが開催され、インシデント防止対策とその評価の実施が定着することを期待します。

また、インシデント報告については、報告件数が経年的に増加しており、第一四半期対前年度比は68%増でした。特に2024年8月分ではレベル0インシデントが全体

の42%を占めており、低レベルインシデントを積極的に報告して高レベルインシデントを防ごうとする機運が高まっているものと推察されます。医師からの報告は全体の2.6%にすぎませんが、医師、看護師以外の職種からの報告は全体の37%を占めており、医師以外の職種からは積極的に報告されているものと考えられました。今後、検査や手術件数ならびに病床稼働率が増えるにつれ、医師からの報告が増えることが強く期待されます。

医の倫理委員会は外部委員も参画して開催されていることを確認しました。委員会では、新たに立ち上がる診療科のみならず、既存の診療科についても診療内容が点検し、高難度医療技術のみならず高齢者などの治療適用の妥当性を評価しようとすることは高く評価されます。なお、医療倫理研修が開催されましたが、継続的な研修ならびに高難度新規医療技術評価の体制確立が期待されます。

また、各部署から委員が選出された医療の質改善委員会が定期的に開催され、職種横断的な問題について検討されていることを確認しました。

一方、医療事故調査は進んでおり、それらの結果が病院ホームページに適切に公開されていることを確認しました。引き続き調査結果の家族への説明と謝罪、情報公開が適切に行われることを期待します。

②透明性のある医療の提供

診療録記載に関する講習会が開催され、診療情報管理委員会により診療録監査が行われていることを確認しました。引き続き診療録記載に関する手順ならびに説明文書の記載内容、説明同意書の保管手順の改善が期待されます。

③救急医療・診療体制の充実

診療体制の医療安全活動が継続的に行われていることを確認しました。死亡退院患者のレビューが行われ、病院長ならびに幹部会に報告され、医療法上の医療事故の対象につき適切に検討されていることを確認しました。多職種によるカンファレンスの充実を図られることを期待します。

一方、BLS・ICLSコースが実施されていることを確認しました。また、統一した様式により手順書が作成されており、鎮静に関する資格やガイドラインが策定されていることを確認しました。侵襲のある検査における関係職種の情報ならびに安全確認を目的として肝生検においてタイムアウトが実施されていることを確認しました。タイムアウトを行う対象検査・処置が増えることを期待します。

④看護体制及び研修の充実

ヘルプコールという相互支援体制が機能していることを確認しました。引き続きコミュニケーション力などのノンテクニカルスキルの強化により、患者に寄り添った質の高い看護が実践されることを期待します。

(2) 安全文化調査

法人病院を対象とした医療における安全文化調査が継続的に行われていることを確認しました。直近の調査結果をもとに効果的な改善計画が立案、実施されることを期待します。

(3) まとめ

令和6年7月12日に実施した医療安全業務監査に引き続き2回目の監査を行いました。神戸市の改善措置命令に対する改善計画スケジュールに沿って着実に活動が進み、医療安全管理体制が明らかに改善していることを確認しました。しかし、さらなる改善活動が必要な項目もあり、医療安全に関するガバナンスが強化され、職員の行動変容につながることを確認できるためには、もう少し時間を要するものと考えられました。長く地域医療を支えてきた病院であり、地域住民が病院に寄せる期待は大きいものと存じます。安心安全な医療を提供するために引き続き改善活動の実施ならびに徳洲会グループの支援を期待します。

以上